

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 olive

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8名			・引越した後、部屋の数が増えた為、適宜クールダウン	引越し、空間(支援・相談・事務所)が分かりやすくなっている。今後も児童の状況により、個別での活動等を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	7名	1名			配置基準を守り、支援に取り組んでいます。今後は職員への情報共有を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3名	3名	2名		・駐車場から入室までの屋外段差が多い。職員が児童を安全に移動できるようにサポートしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8名				・今後も職員間で共有しながら全体でも確認し共有していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8名				・
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7名	1名			・ホームページに掲載しています。職員への周知に努めます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3名	2名	3名		・現在は保護者の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7名	1名			・研修案内をかけ、研修の機会の提供を行っています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8名				・現状を整理しながら、保護者や児童へ寄り添い作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8名				・事業所内のアセスメントシートを活用し、職員間で情報共有を行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8名			・事前にミーティング等でプログラムの内容を検討して	・常勤を中心に立案し、みんなで意見を出し合い行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8名			・前月のカレンダー カレンダーを見ながら固定化がない	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8名				・一人ひとりの発達段階に配慮し、できる支援を検討しながら設定しています。長期休暇では様々な経験や体験ができるよう工夫しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8名				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7名	1名			・支援前後に打ち合わせを行い、支援内容や分担の確認を行っています。その場に居ない職員へはLINEを活用するなど共有しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7名	1名			・翌日、支援の振り返りを行っています。その場に居ない職員へはLINEを活用するなど共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8名				・実施しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8名				・定期的の見直しや課題整理を行い、一人ひとりの能力を伸ばしていけるよう努めています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8名				・5領域の中から組み合わせ、スモールステップの支援を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8名				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8名				・学校・保護者と連携し、予定等の共有を実施し ています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	8名				・対象児いませんが、受け入れの際は各関係機 関と連携し体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7名	1名			・モニタリングを行い、必要であれば保護者の確 認の元、情報共有や資料の提供をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	6名		2名		・対象児はいませんが、姉妹店舗へ児童が移動 する場合は支援内容や児の状況を共有してい ます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6名	1名	1名		・研修案内があった際には積極的に参加し、受 講後は職員へ共有していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1名	2名	5名		・児童館での活動を計画しているが実施出来て いない状況の為、今後は交流の場を設けてい きます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2名	1名	5名		・開催予定の際は、積極的に参加できる様にし ていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8名				・日々の送迎時に様子や課題を伝え、LINEを活 用し活動の様子等を細めに伝えていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5名	2名	1名		・研修案内や資料提供など、情報発信を行って いきます
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8名				・契約時、丁寧に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8名			・相談を受けた際 は出来るだけ迅速 に対応するよう心 がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	7名	1名		・定期的に保護者会 を開き、事業所の 様子を見てもらい ながら交流も図れ	・今後も定期開催を行い、保護者同士の交流が 持てるよう配慮していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8名			・迅速に対応してい ます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8名				
	35	個人情報に十分注意している	8名				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8名			・iPad等・写真や絵 カードを活用してい ます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に関わった事業運営を図っている	1名	2名	5名		・地域とのつながり方を検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8名			・避難訓練を行い、ミーティング等で改善すべき点を確認している。	・今後もマニュアル等を職員・保護者で共有し、再確認していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8名			・定期の避難訓練を子ども達が理解しやすい内容で行い備えている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8名				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8名			・契約時に丁寧に説明し、保護者に聞き取りを行いながらサービス計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7名	1名			・対象児なしだが、受け入れの際は医師の指示書に基づき対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8名			・内容を職員へ周知し、いつでも手取りかかできるようにしている。	